

定例教育委員会【議事録】

日 時 令和5年4月14日（金）
15時00分～

場 所 岡谷市役所2階202会議室
署名委員 太田教育委員、高木教育委員

【次 第】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 令和5年度 岡谷市教育委員会基本方針について【資料 No.1】 (各課)
2. 岡谷市中学校部活動地域移行検討委員会の設置について【資料 No.2】 (教育総務課)

○ 報 告

1. 令和5年度教育委員会事務局職員定期人事異動について【資料 No.3】 (各課)
2. 令和5年度教育委員会予算について【資料 No.4】 (各課)
3. 岡谷市立小・中学校の児童生徒に係る学校と警察との連絡制度運用要領の一部を改正する訓令【資料 No.5】 (教育総務課)
4. 旧中央小学校及び中部中学校の顕彰碑の設置について【資料 No.6】 (教育総務課)

○ そ の 他

- ・行事等について (各課)
- ・その他

【次回開催予定】5月11日（木）定例教育委員会 9時30分～ 6階 605会議室

出席委員

教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 小平 陽子、教育委員 林 慎太郎

事務局（説明員）

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主幹指導主事 濱 敦志、
生涯学習課長 伊藤 恵、スポーツ振興課長 小松 隆広、
教育総務課学校教育主幹 味澤 勝一、教育総務課教育企画主幹 西山 塁、
教育総務課主任 大島 俊輔、川岸学園設立準備室川岸学園設立準備主幹 新村 尚志

<会議録>

○開会

白上教育部長： それでは開会に先立ちまして、4月1日付定期人事異動に伴いまして、新たに教育委員会の方に配属となった職員を紹介いたします。
なお川岸学園設立準備室の新設に伴いまして、教育委員会以外の兼務職員も併せてご紹介をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

<昇格者・異動者の紹介>

以上教育委員会へお迎えした職員のご紹介を終わらせていただきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

岩本教育長ですが、本日所用のため会議に出席することができませんので、本日の議事進行は太田教育長職務代理にお願いしたいと思います。
どうぞよろしくお願いいたします

太田教育長職務代理： 承知しました。それでは私のほうで議事を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それではただいまより4月の定例教育委員会を始めます。

本日の署名委員でございますが、高木教育委員さん、小平教育委員さん
にお願いをしたいと思います。

それでは始めに教育長報告を白上部長お願いいたします。

○教育長報告

白上教育部長： 本日教育長不在のため、私から報告をさせていただきます。

満開の桜とともに、令和5年度がスタートいたしました。

4月6日の入学式には教育委員の皆さんにも分担して出席していただきました。

今年度は小学校に322名。中学校に365名の新1年生を迎えました。
新入生にはまだ緊張もあるかもしれませんが、先生方や、友達との出会いを大切に、楽しい学校生活を送ってほしいと願っております。

コロナに関しては、学校でのマスク着用の見直しが行われております。

また5月4日には、感染症の分類が5類へと引き下げられますが、収束したわけではありませんので。引き続き必要な対策をしながら、アフターコロナを見据えた元気な学校生活と安心安全の学校運営に努めてまいりたいと考えております。

教育委員会の新体制であります、今年度から新たに川岸学園設立準備室と市史編さん準備室が新設となっております。

これらの室は、今後本市が推進する大きなプロジェクトの中心的役割を担ってまいります。新年度も引き続き、小中学校と連携しながら業務を推進してまいりたいと考えております。

白上教育部長： それでは本日も何点か報告させていただきます。

最初に教育総務課関係であります。昨年度のキネマ旬報社による全国映画感想文コンクール、中学校の部で、岡谷東部中学校が最高賞の最優秀団体賞を、卒業生の吉水優香さんが優秀賞に選ばれ、3月に表彰されました。このコンクールには、全国から1万2272点の応募があり、中学校には450校が参加したもので、団体と個人の部の受賞となりました。映画を見て感じたことを言葉で伝えることは大切な力でありますので、中学生の作文力が評価された受賞を大変うれしく思っております。

続きまして、生涯学習課関連の報告をさせていただきます。市立岡谷図書館であります。この度システム更改を行い、利用者、職員ともに使い勝手の良いものに改修されました。一例を申し上げますと、「すわズラ〜」において、利用申請の手続きがオンラインで行えるようになったほか、借りた本の履歴を残せる機能や検索画面に本の表紙写真が表示される機能等が加わりました。

また、タブレット端末を新規に1台導入し、どこでも所蔵図書資料の状況を見ることができるようになったことから、おおいに活用してまいりたいと考えております。昨年度、電子図書館が導入されるなど、図書館も時代に合わせて進化しておりますが、多くの方に足を運んでもらえる図書館を目指して様々な事業を行いながら利用者サービスに努めてまいりますので、よろしく申し上げます。

最後にスポーツ振興課関連の報告をさせていただきます。市民水泳プールについては、昨年10月から老朽化対策と長寿命化を図ることを目的に、大規模改修工事を実施しておりますが、今月27日の竣工検査をもって工事が完了する予定であります。利用者の皆様には大変ご不便をおかけしましたが、安全で快適に利用できる環境が整ってまいりましたので、現在5月3日のリニューアルオープンに向けて準備を進めているところであります。

オープン当日は安全祈願や泳ぎ初め等のセレモニーを行った後、終日プールを無料開放とし、さらにプール入口周辺には、のぼり旗の設置や、キッチンカーなどを招致し、賑やかなオープン初日にしていきたいと考えております。

これからも、多くの方にプールを利用させていただくとともに、市民の皆様が親しまれ、愛される市民プールを目指してまいりたいと思っております。

私からの報告は以上であります。

太田教育長職務代理： どうもありがとうございました。
ただいま報告いただきました内容に関しましてご質問ご意見等、ございますか。

卒業式、入学式もございましたので、それらを含めて何かご発言あればお願いします。

小平委員： 「すわズラ〜」につきまして、もう1回ご説明いただけますでしょうか。

事務局（伊藤）： 6市町村で行っているオンラインで本の予約ができて、例えば岡谷図書館に指定しなくても、下諏訪でも指定すればそちらでも本を借りてこられる。そういう予約ができて、それを用意しておいてもらえるシステムです。「すわズラ〜」を使っていたらと、今までは本の題名しか出てこなかったのが、その画面に本の表紙が出てきますので、見て楽しみながら選べるようになったということも変更点の1つです。

太田教育長職務代理： その他ございますか。

高木委員： 学校の卒業式、入学式の様子ですが、子どもたちはとても落ち着いていて、マスクをしていても、校長先生のお話によく聞きいっている様子が伝わってきました。校長先生のお話を一つひとつ頷いている様子や、返事をしているところを見ることができました。コロナの中であっても、しっかり聞く態度が育ってきていると、改めて感じた式でした。

どの学校も、できるだけ短い時間でできるように工夫されていて、それでも凝縮されたエッセンスがあって、とてもいい式でした。

太田教育長職務代理： その他ございますか。

藤森委員： 入学式は川岸小学校に出席させていただきましたが、まだ少し短時間でした。どこの学校もそうだと思いますが、そのような配慮の中で、先月の定例教育委員会の中では、教育委員会の告示は掲示でという、お話をいただきました。久しぶりに川岸小学校の入学式のPTA会長さんの祝辞がありまして、とても新鮮な感じで良かったです。祝辞について、各校で足並みが揃っていたのか教えてください。

大体PTA会長さんのご挨拶がここ3年ずっとありませんでした。卒業式は小井川小学校と北部中学校に行きましたが、どちらも挨拶はありませんでした。

4月の入学式になったら川岸小学校は、久しぶりで良い印象を受けました。校長会の中で決めたわけではなく、もう学校のご判断にお任せしているということでもよろしいでしょうか。

事務局（両角）： 規模も違いますし、体育館の中にどれだけ収めるかなど、学校ごとに判断していただきました。ただし、告示については、昨年度と同様に掲示方式で時間を短縮するという事で校長会において共通の確認をして、スケジュールや役割分担については、学校の裁量で実施をいたしました。

藤森委員： P T A会長は卒業式と入学式が一番の晴れ舞台だと私は個人的に思っています。

これから徐々に状況が許すようであれば、今回のスタイルは良いと感じました。

高木委員： もう1点思い出したのですが、卒業式も入学式も、準備がどんどんきちんと進むので、待ち時間が長いと感じました。体育館に集合してから入場するまで、皆さんでじっと待っている時間が長いです。先生方も慣れておりますし、子どもたちも式のことにはよく分かっています、在校生も入場はスムーズにできますので、もう少しタイムスケジュールを、どの学校も考えていただけたら良いと思いました。以上です。

太田教育長職務代理： それではこれから本日の議事に入りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは議題1「令和5年度岡谷市教育委員会基本方針について」、議題とさせていただきます。

事務局より説明をお願いいたします。

○議 題

1. 令和5年度 岡谷市教育委員会基本方針について

<資料1に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理： ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、何かご意見ご質問等ございましたら、お願いいたします。

藤森委員： 学校教育の基本方針の中で、アフターコロナを見据えた安全・安心な学校経営の支援、という記載があります。生涯学習課はポストコロナ時代を見据えた新たな生涯学習活動の推進となっております。ほとんど意味は変わらないと思いますが、アフターコロナとポストコロナの言葉のニュアンスについて、何か違いがあれば教えてください。コロナの終息に向かっていく中で、これから再始動していく、というような意味合いで、これはどちらもそのとおりでいいと私は思いますが。

事務局（両角）： 事前の調整でも私たちもチェックをしておりますが、報道でもこのような名称を使用しております。同じ意味でありますので、そのまま上げさせていただきました。

事務局（伊藤）： ポストコロナにつきまして、社会教育委員会でカルチャーセンターの検討をする中で、ポストコロナという言葉についての議論をしました。

その中でコロナ禍に様変わりした社会のありさまを一掴みにする表現であると認識しました。生涯学習課で、コロナとどう向き合っていくかという意味合いを語る際はよく使用する言葉であり、ポストコロナという言葉を使いたいという思いがあります。そのため、ポストコロナ時代

という表記をしております。

藤森委員： 大筋の意味は変わらないですが、基本方針の言葉は大事です。このポストコロナとアフターコロナの違いはなんですか、という市民の方からも問いかけがあるかもしれません。学校教育も生涯学習も、コロナでの影響で大変な経験をしてきております。やっぱりコロナの影響は現場ごとに違いますし、これからコロナが終息に向かっていく中で、向かっていく方向もそれぞれあると思います。そこで使われる言葉はやっぱり大事だと思います。

太田教育長職務代理： その他いかがでしょうか。

小平委員： 川岸学園設立準備室と、市史編さん準備室につきまして、どのように動いてくのか興味深いです。新しく着任された方たちも含め、何人体制でそのようなスタートを切るのか教えてください。

事務局（両角）： 最初に川岸学園設立準備室です。市の職員は私を含めて9名、それに加えて学びの創生・連携支援室に配置しております、統括教育支援主事の先生が2人います、その方々も学校づくりというところでメンバーに含まれております。総勢11名の体制でスタートをさせていただく予定です。今年度の主な取り組みについては、昨年度に大きな描きをいたしました。構想から次のステップというところで、プランニングの部分の肉付けしていきます。いわゆる基本計画書を作ります。それはハード面とソフト面の両方あります。学校の部分では義務教育学校を目指していく、というゴールがあります。施設づくりと学校づくり、どのような教育方針で教育を提供していくのか、教育者でなければ検討が難しい部分もありますので、そこは濱先生中心に検討を進めていただくチームが1つあります。一方では、施設整備をどのように手を入れてくべきかを描いていくグループの2軸でやっていく1年間になるかと思っております。以上です。

事務局（伊藤）： 市史編さん準備室の方ですけれども、準備室は今カルチャーセンター内に席を設けております。室長と、会計年度が1人と再任用が1人と、文化財の主幹と主査2人に、私を含めて5人体制で、準備室はスタートしました。

基本方針案の作成をしていくのですが、まずどんなものを作った方がいいか。今まで作ってきた上中下巻ありますが、時代に合わせたデジタルの関係もあり、岡谷市としてどのような市史を作った方がいいか。そこから始まると思っております。

また方向性につきましても、委員会を作るのかなど、ゼロからの出発になっていくと思っております。今までも庁内で検討も進めていますが、

事務局(伊藤) : 様々な情報を入れつつ、これから10年近くかけて作っていくものになります。10年後にはDVDも無いかもしれない。先を見据えて実施していく必要があると認識しております。

小平委員: 入学式は岡谷西部中学校でした。同窓会会長さんの武井さんがいらっしゃって、川岸学園のことについてお話をしました。随分前から私もそういう意見を持っていた、とおっしゃってまして、とても前向きに捉えてらっしゃいました。

地域の方も含め、楽しみに思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

太田教育長職務代理: その他はよろしいですか。

高木委員: 各課の重点項目を見ますと。どの課も非常にボリュームのある、最重要項目が並んでいて、大変な1年になると思います。今まで3年間コロナ対策に使ってきたエネルギーが、本来の教育について考えるエネルギーに使えらると思います。私たちも一丸となって、この重点項目を形にできるように、協力して頑張っていきたいと思いました。以上です。

太田教育長職務代理: ありがとうございます。

林委員: 2点、確認をお願いします。

ICTを活用した学習につきまして、具体的な進捗状況や、今年度の取り組みにつきまして教えてください。

安全快適な学習環境の整備の部分で、エレベーターとトイレの洋式化がありますが、市内の小中学校でどのくらい洋式化が進んでいるのかという点も教えてください。またエレベーターにつきまして、障がいをお持ちのお子さんに対応するための設備でしょうか。よろしく願いいたします。

事務局(両角) : 最初にICTの部分です。予算を取ってICTの環境整備をしていくということではなく、1人1台端末というのが3年度から本格稼働して、ここで2年目です。学校で当たり前のように端末を使って学びをする環境が整っております。コロナ禍ということもあり、いろんな制約がありましたが、普通に使うことが当たり前ようになっていくという環境を作ることが大事だと思っております。国でも例えばデジタル教科書につきまして、教科書は紙でかばんの中に入れる事が当たり前のもをデジタル化していきましょうという流れもできております。

英語の部分については全部デジタル教科書を配布して、両方使うスタイルが始まっています。いずれは計画的に国の方でデジタル教科書というのを使えるような環境にしていくというのが、教育のICT化の1番の

事務局（両角）： ねらいの1つにもなっておりますので、そういう流れの中でいろんなものを使いながら授業改善を図っていくというような取り組みとっております。特に新しいということではなく、当たり前にしていこうというのを大事にしていきたいというねらいでございます。

それから、施設整備の部分ですが、学校のエレベーターについては、東部中学校に令和3年度に新しい教室棟の大規模改修で、校舎をリニューアルに伴い整備しました。市内の小中学校11校にはそれまでエレベーターは1つもありませんでした。その整備に合わせて、中学校に初めてエレベーターを整備された経過がございます。小学校には残念ながら、1つもありませんでした。岡谷田中小学校というのは市内の中心の学校でもありまして、学校施設のバリアフリー化は、国の方でも積極的に推進するというトレンドがありまして、ここでエレベーターと障がい者に対応できる多目的トイレをセットにして、工事の方をやっていきたいと考えております。

それからトイレの洋式化について、基本的には昔は和式のトイレが当たり前でした。昨年度は南部中学校のトイレの洋式化をやりました。その前は、長地小学校と川岸小学校というように計画的に進めています。この目標値については、県立の学校の目標が概ね、学校にあるトイレの80%を洋式化にしていく目標がありますので、その数値も目指して改修をしてまいります。従ってこれから手を入れていくのは、洋式化が整っていない環境を改善してまいります。

太田教育長職務代理： ありがとうございます。ご意見等ありがとうございました。それでは内容や文言等、修正がないようですので、令和5年度岡谷市教育委員会の基本方針につきまして、教育委員会としてご承認いただくということでしょうか。

<承認>

ありがとうございました。

それでは続きまして議題2「岡谷市中学校部活動地域移行検討委員会の設置について」、事務局から説明をお願いいたします

2. 岡谷市中学校部活動地域移行検討委員会の設置について

<資料2に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理： ただいま説明いただきました内容につきましてご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。

高木委員： 国の方針に沿って、まずはスポーツの地域移行を検討するという事でお聞きはしています。本来、そのスポーツと文化芸術活動は平等なものであって、同等に進んでいかなければいけないものだと思います。

まずはスポーツを検討しているので、芸術活動については、3年後から、ということではなく検討委員会としては、スポーツを中心に検討していくことになると思いますが、機会をとらえて文化芸術の部活動についても、地域移行の検討をしていくという用にして欲しいと思います。

小平委員： 私も全く同じで、その通りだと感じました。

今はスポーツという言葉だけ出ているので、現状文化系についてどう考えられているかをお聞きしたいです。

事務局（両角）： 県も市も、中学の部活動は何のために、という所が根底にあります。県の部活動のあり方の方針も、従来から定めておきまして、そこに書いてあるのはスチューデント・ファーストです。生徒第一にあり方を考えていくということが、根底にあります。そのため文科系を決して置いていくということではないです。

この地域移行は、受け皿をどうするかにつきまして、それぞれの地域によって状況が違います。大学がある地域、プロスポーツのある地域とない地域、それから総合型の地域スポーツクラブあり、受け皿があるところが強いところもあります。

どちらかというと、本市の場合は、総合型地域スポーツクラブを、過去に作り上げてきた経過はありますが、そこがすぐに受け皿になるかというと、難しさがあるというのが現状です。まずは地域の環境づくりをしていくことが、国のねらいで岡谷市もそのように実施していく予定です。他にも子どもたちにどんなニーズがあって、どんなクラブに入っているか。部活動以外のクラブが日常的にある環境が一方にあって、部活とクラブでどういうふうに住み分けていくか、色々課題は多いとスタートの段階での受けとめております。

関係する皆さん集まっていいただいて、課題の整理や子どもたちの思いや願い、やりたいことはこれだよ、という現状の把握をしてみないと設計できませんので、まずはそういったところから実施する必要があります。

文化部についても、残念ながら昔のように生徒数が多ければ、それぞれで特徴的な部活もできますが、例えば部員が集まらなくて自然消滅というケースも多いです。

岡谷市以外でもそのような現状がありますので、運動部も文化部も、もしやりたい子たちが、どの程度いるか把握できれば、今後に繋いでまいります。地域に移行するという事だけは決してなく、例えば、合同

事務局（両角）： 部活動という可能性もあります。そういう手法も、ゴールの1つになりますので、様々な可能性の中で単純に地域の皆さんに願いますという答えだけではなく、合同にして環境を作っていくというような道筋も1つあると思っています。文化部も含めて様々な可能性を考えていきたいと思っています。

小平委員： アンケート検討は本当に大事なことだと思います。ニーズや時代が変わっているのと、スポーツについても、本当に強いチームに入りたいと思っている子どももいれば、楽しく体を動かしたいと思っている子どももいると思います。その辺の住み分けがどうしても必要かと言うと、やはり放課後に行き場がない子どもがいると思うからです。

学校帰りは塾に行くという家庭もあれば、そうでない家庭もあります。放課後時間を持て余してる子どもたちの居場所づくりの側面もあると思います。

例えば文化系は割とそういう要素を含んでいるのではないかと考えています。市が先導して地域の人と協力して、文化歴史自然科学について研究する名目で集っても良いと思います。他にもテクノプラザもありますし、文化系、理系の方面でも期待しておりますので、子どものニーズの把握をお願いします。ですが子ども自身も分からない部分あるので、まずは検討をする場を作っていただけたらなと思います。

太田教育長職務代理： その他はよろしいでしょうか。

林委員： 娘もついこの間まで中学生でした。僕らの時代に比べると部活自体の選択肢が無くなっていると思います。

スポーツクラブのような、習い事といった選択肢も一方で増えていますが、学校行ったらこれをやりたかった、という子どもたちに対して、何も受け皿がなくなるような状態にはならないような形でお願いします。

うまく誘導できる仕組みや、アンケートの取り方も、今学校にはないけど、こういうことをやりたかった等を把握できるアンケートの形をとっていただければ良いと思います。どうしても運動部に所属していると、保護者の方の負担ってすごく大きいです。保護者の方の率直な意見が吸い上げられれば良いと思います。よろしくお願いします。

太田教育長職務代理： ありがとうございます。

藤森委員さんはいかがでしょう。

藤森委員： 私は体育会系に所属しておりましたが、他の2人のおっしゃる通り、第1条に文化芸術の機会の表記がありますのでよろしくお願いします。

私の娘も中学生では吹奏楽部でしたが、運動部と同じくらい土日も

藤森委員：

やっておりました。本当に毎週、保護者や先生が引率したり、大変と感じたこともありましたので議論の対象にしていただければいいと思います。また、スチューデント・ファーストだと思いますが、学校でやる部活は何のためなのかという所、原点を外さずに議論を広げていくことがとても大事だと感じています。

保護者の代表の方は、各校のいろんな意見の集約をしっかりといただき、単年度で代表者は変わってしまいますが、議論が連続していけるような形でやっていただけたら良いと思います。以上です。

太田教育長職務代理：

ありがとうございます。

地域の実情現状に合わせてとか、生徒のニーズ要望にも合わせてという話もありましたけど、地域によって事情も違いますし、生かせる人の資源や施設の資源も状況が違ふと思います。最初の段階でニーズを把握したり、その中で岡谷市での現状の課題の整理、それから最終的な優先順位付け等が、実はとても大事だと思います。

こうしなさい、ということに囚われるのではなく、状況にしっかり合わせた上で、独自に進めていくようなことができれば良いと思います。まさに検討委員会で検討が十分していただけるような環境を作っていただければ良いと思います。よろしくお願いします。

それではただいま説明していただきました岡谷市中学校部活動地域移行検討委員会設置要綱の内容につきまして、岡谷市教育委員会としてご承認いただくということでよろしいでしょうか。

〈承認〉

ありがとうございました。それでは、承認ということで進めさせていただきます。

本日の議題は以上で終了となります。ありがとうございました。

続きまして報告事項に入りたいと思います。

報告事項1「令和5年度教育委員会事務局職員定期人事異動について」及び報告事項2「令和5年度教育委員会予算について」、一括して事務局より説明をお願いいたします。

○報 告

1. 令和5年度教育委員会事務局職員定期人事異動について
2. 令和5年度教育委員会予算について

<資料3、資料4に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理： ありがとうございます。何かご質問等ございますでしょうか。

小平教育委員： 学校給食の対応の金額の内容について教えてください。

事務局(両角)： 学校給食というのは、要は市の会計に定めて経理を行うというような会計ではなく、学校ごとに、保護者から給食費を徴収して、給食を賄うという私会計という経理を行っております。このところ物価の高騰に伴って給食の材料費も、野菜、肉、卵等が高騰しております。その高騰に対応するため、1食あたりの単価が小学校従来290円と中学校が330円だったものに対して、その高騰により、小学校20円、中学が25円を加算して年間の給食を賄っていく必要がある状況になっております。その値上がり分については、私会計でありますので、その料金自体も給食審議委員会という、すべての学校のPTAの会長さんたちを集めた委員会で定めていただいております。

まず料金の改定を認めていただいた上で、この値上がり分については原価の部分、家庭の経済的支援が必要だという観点で、公費で負担をさせていただく作りになっております。この1300万円はその値上がりした分を、公費による負担金を計上している内容になっております。

小平委員： 給食は保護者にとっても、お子さんにとっても大事なことだと思いますので、市からの配慮はありがたいと思います。

太田教育長職務代理： 他によろしいでしょうか。

続きまして、報告事項3「岡谷市立小・中学校の児童生徒に関わる学校と警察との連絡制度運用要領の一部を改正する訓令について」、事務局より説明をお願いいたします。

3. 岡谷市立小・中学校の児童生徒に係る学校と警察との連絡制度運用要領の一部を改正する訓令

<資料5に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理： ありがとうございます。何かご質問ご意見ございますか。多分条例そのものが個人情報保護法とかに基づいてと作られたものだと思います。内容が大きく変更した訳では無い、そういう解釈でよろしいですね。

続きまして、報告事項4「旧中央小学校及び中部中学校の顕彰碑の設置について」、事務局より説明をお願いいたします。

4. 旧中央小学校及び中部中学校の顕彰碑の設置について

<資料6に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理： ありがとうございます。ご質問等ございますか。ちなみに、お幾らぐらいだったのでしょうか。

事務局（新村）： 99,000円です。

太田教育長職務代理： わかりました。ありがとうございます。

続いて、【その他】に入りたいと思います。行事等について、事務局よりお願いいたします。

○その他

・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

太田教育長職務代理： ありがとうございます。皆さんの方から何かご質問等ございますか。

高木委員： 今年度の仲良しプログラムについてお知らせをします。今まで3年間実施できませんでしたが、今年度は各学校校長先生にもご案内いただきまして、早速いくつかの学校から実施の依頼が来ています。早速、来週の21日金曜日に神明小学校で、ポストコロナ後、初のなかよしプログラムが1年生と2年生で実施をされる予定です。教育委員の皆さん、ご都合つけて予定つけてくださってご参加いただきます。民生児童委員の方など地域の皆さんもお声掛けしたところ、皆さんとても快くお引き受けくださって、一緒にご協力くださるということですので、当日はきっと良いなかよしプログラムができて、保護者の皆さんも和気あいあいとして、お互いを知って親しくなれるような機会にできると思います。

また、来月の定例会で報告をしたいと思います。

太田教育長職務代理： 校長会で今年のなかよしプログラムを濱先生からご紹介をいただいたところ、非常に新任の校長先生たち、興味を持たれましたので、多くの学校で繋がっていくと思います。ぜひみんなでもた頑張って、岡谷市教育委員会の特色でもございますので頑張りましょう。

よろしく申し上げます。事務局より次回の開催予定についてお願いいたします

事務局(両角)： 次回5月11日木曜日でございます。9時30分から会場は605会議室で予定をしております。

太田教育長職務代理： ありがとうございます。

以上をもちまして、本日の会議を終了とさせていただきます。お疲れ様でした。

16時35分 終了

岡谷市教育委員会会議規則第20条により署名する。

令和 5 年 5 月 12 日

教 育 長	教 長 職 務 代 理 者 太 田 博 久
署 名 委 員	小 平 陽 子
署 名 委 員	高 木 千 奈 美
調 製 職 員	白 上 淳